

# 子どもの居場所リバティ 2024 年度報告書

新たな地域の子育て・子育ち拠点をめざして

社会福祉法人 こばと会 社会貢献事業 リバティ

# はじめに

社会福祉法人こばと会は、多摩市で保育事業をはじめてから、50周年を迎えていました。現在、3つの保育園1つの小規模保育所と6つの放課後学童クラブを運営しています。

私たちは子どもたちの育ちを見守り、子育て家庭と関わりながら、より良い子育て環境をつくることをめざし、地域貢献できる法人として活動を重ねてきました。

そして数年前より、こばと会が本格的に保育事業を立ち上げた諏訪地区において、地域住民のみなさんと一緒に任意団体「ハーモニークラブ」を立ち上げ、誰もが「ひとりぼっち」にならない社会の構築を目指し、こばと第一保育園のホール、諏訪小学校のランチルームでの「子ども食堂」の開催及び団地集会所の「誰でも食堂」を毎月定例で開催するとともに子どもや子育て環境をテーマにした映画上映や講演会の開催も実施してきました。

さらに、2019年、こばと会では新たに地域の子育て拠点をつくるため、諏訪商店街の一角に場所を整え、「ハーモニーカフェ」として親子が気軽に集える コミュニティカフェとレンタルスペースを設置して、子どもに関わる活動をされている個人や団体に貸し出し、地域の活性化にも取り組んできました。コロナ禍に見舞われながらも地域のニーズに応じ学習支援や食事提供を継続してきました。

こうした活動を通し、私たちは子どもを取り巻く環境がますます厳しくなっている現状を目の当たりにし、何よりも子どもたちが心の安全を確保し、安心を得られる場が必要であることを痛感しています。

そこで、2022年より「ハーモニーカフェ」を「子どもひろば リバティ」と改め、こばと会創立50周年記念事業とし、新しい一步を踏み出すこととなりました。

私たちは、「子どもひろば リバティ」を通じ、行政や関係機関との連携し、より一層、地域の子育てに寄与し、貢献していきたいと思っています。

理事長

元井由隆

# リバティ とは

家族や家庭のカタチに関わらず、  
すべての子どもたちが一人ぼっちにならず、  
人生を自由に考え、選択できるような場をつくります。  
そして、子どもとその保護者への「育ち」と「安らぎ」を提供し、  
共につくり、育ちあえる場を提供します！

子どもやその保護者が、気軽に立ち寄れる「居場所」として、子どもに対する学習支援や食事提供をはじめとした生活支援、保護者に対する相談支援や育児講座などを実施し、様々な事情を有する子どもと保護者に対して、包括的な支援を行います。

子どもを中心とした各家庭の「くらしの質」の向上、地域で子どもや家庭を支援していく環境を整えていきます。

## <事業内容>

- 子どもの居場所の提供
- 子どもに対する学習支援
- 保護者に対する養育支援
- 食事提供などの生活支援
- ヤングケアラー支援

## <事業対象>

- 多摩市及び近隣の子どもと家庭 概ね6歳以上の児童・生徒
- ヤングケアラー支援は都内の中高生対象
- ※所得による利用制限はありません。



# 事業の運営と体制

設 置 者　社会福祉法人こばと会

運 営 者　リバティ運営委員会

　　運営委員長　元井由隆

　　運営副委員長　西川毅（事務局長）

　　運営委員　　櫻田幸也（事務局長補佐）

　　運営委員　　岩永ひさか

　　オブザーバー　田中まさみ

運営スタッフ　事務局長　西川毅

　　事務局長補佐　櫻田幸也

　　調理・見守り担当（常勤）　佐藤江身子

　　調理・見守り担当（常勤）　坪野昂介

他応援職員　法人内放課後学童クラブ職員（1名）

学生ボランティア・アルバイト（適宜）

今後、事業実施の状況に合わせ、社会福祉士、臨床心理士など専門職の参加を得て、運営評価委員会を設置予定です。



# 実施概要

**開所曜日** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日

※但し、開所日が祝日の場合には休所します。

**開所時間** 午前 8 時～午後 7 時（水曜日午前 9 時～午後 6 時）

※午後 7 時以降の来所についてはお断りする場合があります。

**食事提供** 上記時間帯中、原則一人 1 食

※状況に応じて、事務局長と相談の上、回数を増やすこともできます。

**利用定員** 概ね 15 名程度とします

※利用にあたっては、事務局が保護者と面談を行い利用状況などを決定します。緊急連絡先、食物アレルギー情報及び学習到達度などを記載した個人シートを作成し、管理します。個人情報の取り扱いにあたっては、法人内の規定に則り実施しています。

**利用料金** 無料

※子どもと一緒に食事を希望する大人 300 円（1 食）を提供できます

**安全管理** 保険加入します。

帰宅時間を取り決めますが、保護者の送迎が望ましいことを伝えています。

**連携機関** 多摩市子ども青少年部児童青少年課、子ども家庭支援センター、

多摩市教育委員会、近隣の小中学校など。

※必要に応じ、個別のケース会議などにも出席します。

**関係機関** 多摩市社会福祉協議会 たま食ネット

※食料支援団体からの支援、個人からの食材寄付をいただいています。



# 活動報告

本年は子どもたちの第三の居場所として、新たな展開を模索する一年となりました。

## ▼子どもの居場所「リバティ」

任意団体で立ち上げたハーモニークラブにおける「子ども食堂」地域のコミュニティカフェでの実績はもちろんのこと、私たち社会福祉法人こばと会が地域において、長年重ねてきた信頼をベースに、行政をはじめとする関係機関や地域住民の多くの皆さんの支えがあってのものと考えております。

2019 年秋に諏訪商店街に「子育て拠点」を開設し、いよいよ本格始動と思った矢先新型コロナの襲来でしたが、ボランティアスタッフはもちろんのこと、「こうした場所が欲しかった」と応援をいただき、子どもたちへの支援物資などをはじめ寄付などを寄せてくださる方々の志により何とか乗り切ることができました。この様な活動を継続するためには、何よりも財政基盤を安定させることが必要です。

当初、当社会福祉法人の社会貢献活動のひとつ任意団体「ハーモニークラブ」での「場の継続」も検討しました。最終的には、日本財団の「子ども第三の居場所事業」として 3 年間の助成を獲得することとなりこばと会の一つの事業としての活動展開に衣替えする事となりました。名称も従来の「ハーモニーカフェ」から「リバティ」へと変更し、現在に至っています。

現在、「リバティ」の活動は、利用者である子どもやその保護者、また関係機関との情報交換もしながら、そのニーズに対応する形で内容の充実に努め、地域で存在すべき在りようを追求しています。「調理・見守り」を担当する複数の職員を安定的に雇用することが可能となったことによって、私たちが本来目指す「あらゆる子どもたちを受け入れることのできる場所づくり」を少し前進させることが出来たと捉えています。

また、これまで、「ハーモニーカフェ」としてコロナ禍でも支援を必要とする子ども達と向き合い、中学校への進学相談や高校入学への支援を実施し、具体的な実績を手応えとし、さらに活動の発展に向けて、事業の充実を図りたいと考えています。

ますます学校に足が向かない子どもたちの存在が指摘され、多くの子どもたちが不登校となり、問題の深刻さが社会問題となっている折に、この活動に対する期待やニーズの高まりを実感しています。



(子どもを見守りながら、調理を行うスタッフ)  
「リバティ」の開所式には、市長、教育長等の関係行政機関、市議会、民生委員、保育園長を始めとする多くの地域の方々にもご参加いただきました。

夏休み以降子どもたちの受け入れ態勢を整えていくために学生ボランティアスタッフの募集やさらに子ども家庭支援センターとも密な連携を図るべく情報交換なども進めています。本年10月からは、法人内の学童クラブの職員が1名派遣され、日中の「リバティ」の活動に参加し、子どもたちのフォローにあたっています。



(市長、教育長をはじめ、子ども青少年部、教育委員会の関係者、日本財団の皆様をお迎えして開所式を実施)

また、ハーモニークラブの「子ども食堂」の活動も週1回持ち帰りお弁当による「食の提供」として継続してきましたが、リバティでも引き続き実施しています。「会食」ができないながらも、引き取り時に、保護者や子どもたちと対面し、様子を見守りながら、必要に応じた子育て、教育などの相談を行っています。



(リバティでは大人が子どもたちに指示を出ことなく、子どもたちの主体性を大切にしながら、見守っています。)

私たちはこうした事業の展開にあたって外部から評価の視点を取り入れることが重要だと考えており、現在、事業運営への評価、助言をしていただく運営評価委員会の設置を検討中です。子どもたちの居場所として、子どもたち一人一人の育ちを丁寧に見守り、信頼できる活動を進めていきたいと思います。

### ▼「リバティ・プレ」

こばと会では、保育園の存在意義とし、地域の「子育てプラットホーム」としての機能があると考え、定期的に保育園を開放し、地域の親子を受け入れてきました。新たに「リバティ」が地域拠点として開設されたことに伴い、保育園で実施してきた活動の軸足を移転し、「リバティ・プレ」と位置づけ、現在も継続実施しています。保育士資格のあるスタッフを二名配置し気軽に子育て相談できる環境と同世代の子ども同士が知り合う場として設置しました。「リバティ」の利用対象年齢以前の親子でも利用できるようにしています。

実際に就学前からの保護者や子どもとの関係性を構築し、長く見守ることのできる体制を整えることによって、安心できる子育て環境の創出に繋がっていくと捉えています。この「リバティ・プレ」が、地域の親子を「リバティ」へともつながり何か困った時には頼りにできる場として発展させていきたいと思います。



(2階フロアは乳幼児も安心して遊べる場として開放。地域の子育て団体に貸出、イベントなどで活用されている様子)

### ▼レンタルスペース「リバティ」

週に一度、地域の子育て支援NPO団体に場所を貸出し、「子育て広場」の実施をしています。「リバティ」の事業に支障のない時間帯は、多摩市や地域の子育て環境をより良くする視点から、子育てに関連した活動を支援することを目的に、場所を活用してもらうことが可能です（要相談・有料）。

他団体などに貸し出すことは、多くの方々に「リバティ」を知ってもらおうきっかけ作りにもなっています。



### ▼ハーモニークラブとの連携

前述した通り、現在もハーモニークラブの「子ども食堂」活動を引き継いでいますが、それと合わせ、地域自治会の方々との協力関係も継続し、月1回定期的に「誰でも食堂ハーモニーカフェ」も実施しています。

現在、諏訪4丁目及び5丁目自治会の集会所を活用し、感染症対策を実施しながら、希望者には「会食」の場も提供しています。リバティのスタッフがボランティアとして参加し、高齢者や子どもたちが「おたがいさま」で見守りあえる関係づくりを進めています。

# 活動実績

※2025年 2月現在

## ▼子どもの居場所「リバティ」

登録児童数 小学生 47名 ／ 中学生 26名

延利用数 1770回

食事提供数 テイクアウト弁当含む 4924食

## ▼面談・相談

利用相談面接者数 28名（うち関係機関からの紹介8名）

利用者面談・関係機関ケース会議など出席回数 48回

## ▼レンタルスペース「リバティ」

1階 ランチハーモニー（ハーモニークラブ主宰） 毎月第4水曜日実施

諏訪商店街サマーセール/ハロウィンイベント

貸し出し実績16回

2階 そらいいろたね（子育てひろば） 毎週火曜日実施

子ども・保護者延べ利用数 343名

1階 あさひ塾(無料塾) 毎週水曜日

子ども・大人延べ 78人

## メディア掲載 取材など

▼タウンニュース 多摩版 2021年(令和3年)12月2日(水)号

**こばと会**

**諒訪に「子どもの居場所」**

**来春 学習支援や食事を提供**

**【コンセプト】**  
子どもたちが自由にくつろげ、  
遊び、遊べる場。中学生以下で  
あれば「誰でも」利用可能。

**【内 容】**  
子どもたちの学習や遊び場。  
学童スタッフが様々な相談に  
応じてくれる。希望者には食事  
を無償で提供。

**【場 所】** 多摩市諒訪5-6-2  
**【利用時間】** 平日10:00  
諒訪名店街内 ~16:00

**【イベントのイメージ =写真(上下)=**

こばと会は来春、諒訪  
名店街内に「子どもの居  
場所」となるスポットを  
開設する。中学生以下で  
あれば、誰でも学習支援  
や無償の食事提供などを  
受けられる場所にしてい  
く計画で、同会が運営す  
る学童クラブの職員が  
「遊びのお手伝い」もし  
てくれるといふ。

また、この場所では子  
ども・乳幼児との親な  
どを対象とした各種セミ  
ナーも随時、開催予定。

一方で同会はこの場所  
を保護者や保育関係者が  
集まる研修の場にもして  
いく計画も立てている。  
乳幼児の心理学や発達  
心理学、脳科学などを通  
じた保育について学び合  
える。

問い合わせはリバティ  
「エビデンスをもつ  
て子どもたちと接する」  
ができるように保育者  
を通じて、保育にあたる  
ことが大人にとっても成  
長につながることを知っ  
てもらいたいとしてい  
る。

**名称は「リバティ」**  
このスポットの名称は  
「リバディ」。地域の交  
流場にもなるよう軽食や  
飲み物を提供するカフェ  
「リバティ」。地域の交  
流場から子どもたちの  
場所から子どもたちの  
支援が広がるようにな  
りたい」と話している。

**商店街内の店舗を利用**






▲「居場所」を紹介する西川さん  
▶カフェ機能も残るリバティ

「居場所」が先月、諏訪名店街内にオープンした。地域の交流スポットとして人気を集めていたすわハーモニー・カフェがより「子ども向け」となった形で、「リバティ」の名称で再スタートした格好だ。

子どもが立ち寄れる「居場所」を見た。地域の交流スポットとして人気を集めていたすわハーモニー・カフェがより「子ども向け」となった形で、「リバ

ティ」の名称で再スター

ます」とは、リバティを運営する社会福祉法人こばと会の西川毅さん。食事を提供し、遊び場として勉強するところなどを子どもたちに立ち寄ってもらえばと考えているのだという。

「勉強を教える塾のような場ではなく、あくまでも家庭、学校とは異なる第3の居場所となるところです」。そう西川さんは微笑む。

ます」とは、リバティを運営する社会福祉法人こばと会の西川毅さん。食事を提供し、遊び場として勉強するところなどを子どもたちに立ち寄ってもらえばと考えているのだという。

そんな「居場所」を見守るのが、ハーモニー・カフェの店長だった櫻田幸也さんと調理担当の佐藤江身子さんだ。リバティとなりカフェ機能は縮小したものの引き続き、一般客も利用可能という。

「ランチの価格700円のうち、200円は子どもたちの居場所運営のための支援金とさせて頂くようになりました」と櫻田さん。リバティは予約や事前の申込不要(会員登録は必要)。中学生以下の希望する子には食事を提供し、利用料は水・土日を除く午前9時から午後3時まで。問い合わせはリバティ 042・400・0805。

## カフェ機能も



櫻田さん

## ▼NPO 法人シーズネットワーク レター

シーズレター Special Interview

Vol.61 2021.7.1

シーズネットワークは「子育て」をたのしみ、「自分らしく働く」ことを応援します。

一緒に食べて、話して、笑える幸せを

佐藤江身子さん

すわハーモニーカフェ シラ

ライススタイルに合わせて自分らしく働き好きなこと、やりたいことを実現している素敵なお仲間たちです。

働き方私流

Profile

東京都日野市出身。服飾系専門学校卒業後、高級カフェでアルバイト。その後建築会社に就職。結婚後、子育て中に「café GREEN」をオープン。オーナーシェフとなる(2017年閉店)。現在、「すわハーモニーカフェ」のシェフとして働く。夫、一男一女とともに多摩市在住。

●営業時間●  
「すわハーモニーカフェ」  
月・火・木・金 11:00~15:00  
「創作料理酒場ハーモニー」  
毎週第2・4金 17:00~21:00

Facebook QRコード

多摩市の諏訪名店街にある「すわハーモニーカフェ」のFacebookには、ランチメニューの写真がアップされていて食欲をそそる。その創作ランチやスイーツづくりを一手に担っているのが佐藤江身子さん。取材時は緊急事態宣言期間のために休業中だったが、いつもはカフェのオープンキッチンで手際よく調理をしている姿が見られる。

子どもの頃から、共働きの両親が留守の間に自分で料理をしていた佐藤さん。家に友達を呼び、料理をふるまって喜んでもらえるのがうれしかった。実家は家族や親戚が大勢集まるのが当たり前のおいしいものを大量に作っていたとのこと。アルバイトをしていた飲食店でも、提供しているメニューにどんな食材や調味料が入っているかを考えるのが好きだった。そんなに料理好きなら、学校も調理系に進学?と思いつきや、調理師専門学校に行くことを勧める父親に反発して、なんと服飾系専門学校へ。卒業後は、高級カフェに勤めたり、建設会社に事務職として就職し、まかないの昼食づくりも担当したり。料理、調理と縁が切れることがなかった。野菜たっぷりのまかない昼食を「おいしい」と喜ばれたり、「ダイエットできた」と感謝されたりしたことがうれしかったという。

24歳で結婚し、専業主婦に。2人の子どもの子育て中には、子どものことで悩みもあったが、育児書を読んでも解消はできず、ママ友達にも話しづらい。そんなときに参考になる話を先輩ママから聞いたかった。そう、先輩ママと話ができる、子連れで気兼ねなく行けて、しかも、ちょっとおしゃれで、行くと気分があがる場所があればいいのに…。自分は小さな頃から料理が好きで、人を呼ぶのが好き。家の近くで場所を借りて、そんな居場所を作れたらいいな…。

そんな想いから、自身の子どもがまだ小中学生のときに、多摩市内で「café GREEN」を開業した。狙いどおり、子育て中の親子や年配の女性がリピーターのお客様となり、佐藤さんはオーナーシェフとして頑張った。しかし、カフェ営業に家事や子育ての大変さも重なり、経営者として仕事に没頭しきれない状況。ストレスは高まるばかりだった。そこへ実家の母親の体調の心配も重なり、ついにカフェを閉店することになった。

その後、2019年11月にオープンした「すわハーモニーカフェ」を運営する「すわハーモニークラブ」から声をかけられ、シェフとして働くことに。子どもたちは大きくなって子離れもできつつあった。カフェの仕事は週4日。今が一番身軽で楽しい、という。今後はこのカフェで「笑顔のキッチン」という料理教室をやりたい、とのこと。元々は自宅でやっていた料理教室の再開を考えている。「人と話すことを大事にしたい」ので、集まって簡単な料理を教えるながら、わいわいと一緒に作って、食べて、わいわい楽しい話をして、笑って…。教室で作った料理は参加者に家族分を持ち帰ってもらい、その日の夕食づくりの時間を自分の時間に充ててもらいたい。それで少しでもハッピーな気持ちになる時間を過ごしてもらえたなら…」

料理教室の実施は、コロナ禍が落ち着いてからになるかもしれない。でも、今はカフェランチでたくさん的人が元気になる居場所が地域に提供されていることがありがたいことだなあと思う。

2021年7月1日号

▼ オープン時に作成したチラシ

**そうだ、リバティに行こう！  
子どものひろば、  
諏訪に誕生！**



リバティは、諏訪5丁目から  
し銀行前に 2022年1月から  
開設。社会福祉法人こばと会が  
運営する、安心で安全な子ども  
のひろばです。水曜を除く平日  
の8時から子ども達を無料で受け  
入れます。大人が学習支援や  
遊びのお手伝いもします。中学生  
以下へは食事も無料で提供。お気軽に来てくださいね。予約や事前申込は不要ですが、保険加入  
のため会員登録をしていただけます。詳しくはお問い合わせください。



206-0024  
多摩市諏訪 5-6-2-101  
バス停から徒歩5分  
問合せ：042-400-0855  
平日（毎週）9時～16時  
liberty@tama-kobatokai.jp



▼リバティのロゴ



## ▼地域の小中学校の体験学習の受け入れ

多摩市立瓜生小学校 2年生

リバティ様  
令和4年9月12日  
多摩市立瓜生小学校  
校長 水野 翔司

施設・店舗の見学および取材等のお願い

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。また、塾下校時や放課後等に子供たちを温かく見守ってくださり感謝申し上げます。さて、本校の第2学年では、生活科「もっと知りたい たんけんたい」の学習を進めています。この学習では、地域の人々との繋わりを深める活動を通して、地域の良さや地域の人々の温かさに気付き、地域の人々への親しみや愛着をもつことをねらいとしています。

現在、子供たちは「地域のお店のために、自分たちができることをやってみたい」という思いをもち始めています。

そこで、子供たちの生徒の身近にある施設・店舗内の見学や取材等を通して、自分と地域の繋わりや自分の生活を見つめさせたいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、下記の日程にてご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

<第1回目>

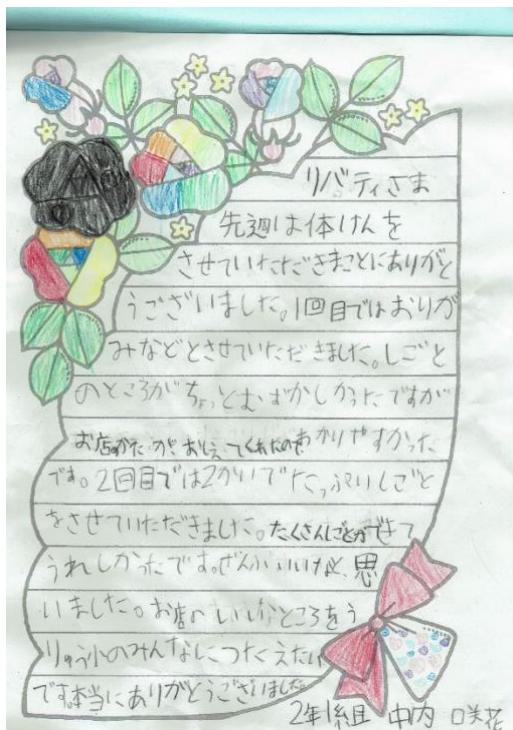
【日時】令和4年10月24日（月）午前10時45分から午前11時30分の間  
【内容】施設・店舗の見学や体験、取材（インタビュー）

<第2回目>

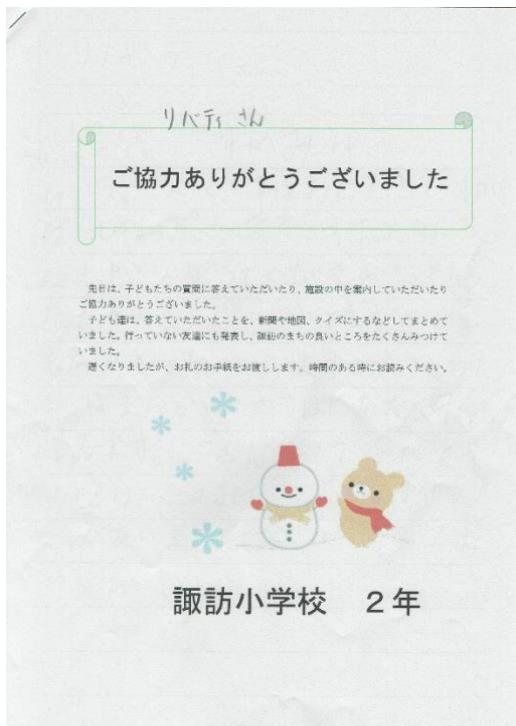
【日時】令和4年10月28日（金）午前10時45分から午前11時30分の間  
【内容】1回目の見学・取材等を振り返り、グループごとにお店のためにできる  
ことを話し合い、それらを実行する。

以上

連絡先  
瓜生小学校 2年担任 吉田美香  
電話番号042-374-0854  
FAX番号042-374-0881



多摩市立諏訪小学校 2年生



12月 20日		名前	×
2年 1組		1	

インタビューのおれいの手紙

12月 20日 名前 富永えい太  
2年 1組

リバティさんへほくがしな  
かたこともおしえてくれて、  
ありがとうございます。4年せんに  
な、たらた、ぶん森林に行くと  
おもいます。

リバティさんへ  
インタビューでたくさんのこと教えて  
くれてありがとうございます。  
たくさんいつ文に答えていたたさあり  
がとうござります。リバティのことか  
とてもかかりました。今ど行きます。

## 参考資料\_ 利用者数他実績

### ●子どもひろば リバティ

	登録児童数		延利用回数	延食事提供数				相談・面談数			
				リバティ利用者食数		テイクアウト弁当食数		初回利用相談	利用者・関係機関面談		
	小学生	中学生		子ども	大人	子ども	大人				
4月	4	1	121	86	43	89	138	5	0	1	
5月	1	1	154	112	33	99	126	3	0	3	
6月	0	0	188	129	40	93	124	1	0	1	
7月	3	0	156	143	24	95	111	2	0	0	
8月	2	0	132	134	33	83	126	0	0	3	
9月	1	0	144	120	25	127	181	2	0	1	
10月	2	0	159	128	22	189	222	1	1	0	
11月	2	0	126	87	12	153	162	2	1	1	
12月	1	3	148	143	21	134	151	6	3	1	
1月	2	0	122	93	16	133	150	1	0	1	
2月	1	0	125	100	21	106	140	1	1	0	
3月	3	1	195	155	17	113	142	4	2	0	
合計	22	6	1770	1430	307	1414	1773	28	8	12	

### 参考 日常の風景



△やりたいことを、やりたいように



△ボランティアの学生さんは大人気！



△20歳のお祝い会



△お弁当作りをお手伝い。



△自分のペースを大切にして過ごす



△お野菜の収穫！